

施設見学会の
ご案内
P14



Business Report

第199期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



東武鉄道株式会社

証券コード：9001

株主の皆様へ、東武グループの概況についてご説明いたします。

取締役社長 根津嘉澄



Q1 当上半期の業績について教えてください

A1 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、雇用情勢等に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にありましたが、個人消費は引き続き力強さを欠くなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢下にありまして、当社グループでは、グループの新たな成長へ向けて、長期的な視点から「経営の基本的な方向性」等を示した「長期経営構想」と、これにもとづく4か年の具体的な取組みを示した「中期経営計画」にもとづき、当社グループの持続的な成長に向けた投資を積極的に推進するとともに、財務健全性を堅持しつつ、株主還元の一層の充実をはかってまいりました。

当上半期の連結業績は、営業収益は2,814億76百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は317億19百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益は295億85百万円（前年同期比7.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、子会社の事業再編にともない保有す

る土地等の固定資産に係る減損損失を計上したことにより51億2百万円（前年同期比78.5%減）となりました。

Q2 中間配当について教えてください

A2 当社は、長期にわたる経営基盤拡充のため、財務健全性を堅持し、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定配当を継続することを基本方針としております。

当期の中間配当につきましては、1株あたり17円50銭に決定させていただきました。

Q3 今後の取組みについて教えてください

A3 当社グループは、これまで鉄道事業や各事業を通じ、街と街、人と街、鉄道ネットワークを活用した相互直通運転、そして各社の協力を得たSL復活運転プロジェクト等、たくさんの「つなぐ」で沿線発展の一端を担ってまいりました。これからも「つなぐ」を「惹きつける力」と「稼ぐ力」へと進化させ、定住人口の増加と交

流人口の拡大による地域の活性化と沿線の価値向上を目指してまいります。

昨年度策定した「東武グループ中期経営計画2017～2020」を当社グループが新たな成長へ舵を切る転換期ととらえており、持続的な成長への投資や将来に向けた新たな収益源の開拓を引き続き積極的に推進するとともに、財務健全性を堅持しつつ、株主還元の一層の充実をはかり、企業価値の向上につなげてまいります。

2018年度においては、鉄道事業における新型通勤車両の新造、東武アーバンパークラインの複線化工事の推進等の利便性向上のほか、ホームドア設置、連続立体交差事業の推進等の安全投資を実施しております。また、これまで行ってきた住宅開発に加え、子育て支援や住み替え支援、就業支援等の生活支援事業の充実により、多くの人を惹きつける、「住みたい・住み続けたい沿線づくり」に向けた取組みを実施しております。さらに、ターミナル駅や主要駅における駅ビル建設や商業施設の大規模なリニューアル工事を推進し、駅の拠点性を高め、沿線開発を深耕することにより、豊かな沿線生活環境の整備をはかってまいります。2020年に向けて今後さらなる増加が見込まれるインバウンドについては、引き続き情報発信や受け入れ体制をグループ全体で強化し、収益の拡大に努めるとともに、観光・ビジネス需要に応える新規ホテルの建設等を実施してまいります。

当社グループは、「東武グループ経営理念」、「東武グループ経営方針」のもと、さらなる企業価値向上へ向け、総力をあげて取り組んでまいりますので、株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

「奉仕」

東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。

「進取」

東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。

「和親」

東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。

東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や獨創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。



川越駅

安全で安心な 駅ホームの整備

CLOSE-UP!

1

ホームドアにつきましては、国・関係自治体のご支援のもと、2020年度末までに、1日のご利用者数が10万人以上の駅(押上・北千住(3階)・新越谷・池袋・志木)および東京オリンピック・パラリンピック競技会場最寄駅(北越谷・朝霞)、計7駅に整備いたします。本年度は、池袋駅1番ホームにて使用を開始したほか、池袋駅2・3番ホームおよび朝霞駅3・4番ホームへの整備が完了する予定です。

2021年度以降は、特にご利用者数が多い区間の駅およびご利用者数が5万人以上の駅、計29駅の整備を推進いたします。



池袋駅

ホームドア整備計画



特にご利用者数が多い区間およびご利用者数が5万人以上の駅100%設置を目指します(合計40駅)



夜間に行うホーム改修工事の様子



Q ホームドアの設置に必要な工事について教えてください。

A ホームドアの土台となるホームの構造は駅ごとに異なり、それぞれの構造に合わせてホームの補強工事を実施しております。引き続き、お客様がホームを安全にご利用いただけるよう配慮しながら、工事を進めてまいります。



東武鉄道(株) 施設部 ぐめ 桑さん

北十間川側



(イメージ)

ミズベリング…日本ではまだ十分に活用されていない国内の水辺環境に対する関心を高め、その新しい活用の可能性を切り開いていくための市民、企業および行政が一体となった協働プロジェクトです。



CLOSE-UP!

2

東京最強の観光地へ ～ふたつの観光地を一体化～

当社では、中期経営計画で重点エリアに位置付けた浅草・東京スカイツリーエリアの開発を促進するため、7月1日に「すみだミズベリング開発推進部」を新設いたしました。

東武線の「高架下」、北十間川の「水辺」、隅田公園の「公園」という3つの要素を活かした北十間川周辺の再開発を皮切りに、日本屈指の観光都市「浅草」・「東京スカイツリータウン」を回遊できる観光地として一体化をはかります。これにより、伝統・文化と先進性が融合した東京最大の観光拠点となることを目指してまいります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には、このエリアに地元地域の皆様や浅草～東京スカイツリーを回遊される方が多く訪れ賑わっていることを夢見て、東京都、墨田区また地域の皆様とともに準備を進めてまいります。

高架下+水辺+公園の
一体再開発が
始動しました!

東武鉄道(株)
すみだミズベリング
開発推進部
塩谷さん



(イメージ)

隅田公園側

運輸事業

営業収益 1,088億18百万円 (前年同期比 0.4%減)
営業利益 213億67百万円 (前年同期比 2.3%減)

鉄道業におきまして、当社では、**より安全**で便利な、そして快適で使いやすい鉄道を目指して、様々な取組みを進めております。

安全面では、竹ノ塚駅付近、清水公園～梅郷間およびとうきょうスカイツリー駅付近の高架化工事を推進いたしました。さらに、ホーム上の安全対策として、池袋駅2・3番ホームおよび朝霞駅においてホームドア設置に向けた工事に着手したほか、北千住駅、新越谷駅および北越谷駅においても設置に向けた準備を進めました。また、沿線の警察や消防と連携した避難誘導訓練等、従業員に対し安全に関する様々な教育を継続して実施いたしました。

営業面では、日光・鬼怒川エリアにおける外国人観光客専用の企画乗車券「ディスカウントパス」の種類を集約し分かりやす

くするとともに、より便利でお得な内容にリニューアルすることで、外国人観光客のさらなる取込みをはかりました。また、運行開始から1周年を迎えたSL「大樹」につきましては、沿線地域との連携をさらに強化し、地元で開催されるビアガーデンイベント等とコラボレーションした企画の実施や、地域住民の方と共同で「鬼怒川線に季節ごとの花を咲かせようプロジェクト」を推進し、日光・鬼怒川エリアの**さらなる活性化**をはかりました。

バス・タクシー業におきまして、東北急行バス(株)では、高速バス「仙台～東京線」を増便するとともに3列シートの車両を導入し、お客様の利便性および快適性を向上させ新規顧客の獲得に努めました。

レジャー事業

営業収益 379億99百万円 (前年同期比 3.1%減)
営業利益 19億25百万円 (前年同期比 43.7%減)

スカイツリー業におきまして、「東京スカイツリー」では、華やかな舞台で多くの人々を魅了してきた「宝塚歌劇」や人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」とのタイアップ企画の開催等により、**幅広い層へ向けた誘客**に努めました。

ホテル業におきまして、「東武ホテルレバント東京」等では、国内外オンライン旅行会社への営業を強化し、個人旅行客のさらなる取込みをはかりました。また、「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」では、客室の全面禁煙化にあわせて内装のリニューアル工事を、「成田東武ホテルエアポート」では、アジアからの家族旅行客のニーズに合わせてツインルームを4人で利用できる

客室へと改修する工事を、それぞれ実施いたしました。

遊園地・観光業におきまして、「東武動物公園」では、人気アニメ「進撃の巨人」と連携したイベントを開催するとともに、オリジナルコラボレーショングッズを販売するなど増収に努めました。「東武ワールドスクウェア」では、台湾最北端にあるランドマーク「富貴角燈台(ふきかくとうだい)」のミニチュアの展示を開始したほか、台湾観光フェアを開催するなど誘客に努めました。

スポーツ業におきまして、(株)東武スポーツでは、トレーニングマシンに特化した「TOBUフィットネスクラブ ネオス東鷲宮」を開業し、新規顧客の獲得をはかりました。

不動産事業

営業収益 263億55百万円 (前年同期比 2.2%増)
営業利益 65億91百万円 (前年同期比 3.3%減)

スカイツリータウン業におきまして、「東京ソラマチ」では、台湾を代表するグルメや観光PRブースを揃えた「台湾観光フェア」や季節に応じた各種イベントを開催し誘客に努めました。

不動産賃貸業におきまして、当社では、**安定的な収益確保**を目的に、中期経営計画における重点投資エリアである浅草において賃貸マンション等を新たに取得いたしました。また、沿線価値の向上をはかるとともに子育て世代のご家族が住みやすい環

境を整備するため、保育所・学童保育室の開設を推進しており、新たに曳舟駅近くに認可保育所を開設いたしました。これにより当社の駅チカ保育所・学童保育室は合計14か所になりました。

不動産分譲業におきまして、当社では、沿線価値向上と沿線定住人口増加を目的として、「ソライエ成増」(板橋区成増)等の分譲マンションや、分譲戸建住宅「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」(野田市清水公園東)を販売いたしました。

流通事業

営業収益 920億24百万円 (前年同期比 2.2%減)
営業損失 3百万円 (前年同期 営業利益5億46百万円)

百貨店業におきまして、(株)東武百貨店では、池袋店において中国からのお客様がスマートフォンで簡単に決済できるサービス「ウィーチャットペイ」を全館に導入するとともに、同様のサービス「アリペイ」対応売場を全館に拡大し、決済手段のサービスを拡充いたしました。また、夏休み期間においては、池袋店においてダンボールを使用した体験型イベント「ダンボール遊園地in東武」を、また、(株)東武宇都宮百貨店では、宇都宮店において海の生き物等が観察できるイベント「南の海のあそべる水族園」を、それぞれ開催しファミリー層を中心とした**誘客と増収**をはかりました。

また、当社では、**完全子会社化することを目的に(株)東武ストアの株式を取得**いたしました。これを契機とし、これまで以上に当社グループカードやグループポイントサービスを活用することでグループ会社間の連携を強化し、お客様の利用頻度や購買額の伸長をはかり、流通事業をはじめとした当社グループの競争力の向上を目指すとともに、駅ナカ・駅チカを中心とした機動的な店舗展開により、日々の暮らしの利便性が高く、暮らしやすい東武沿線としてまいります。

その他事業

営業収益 463億6百万円 (前年同期比 4.0%増)
営業利益 19億15百万円 (前年同期比 9.7%減)

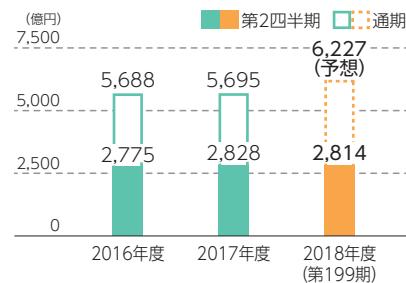
建設業におきまして、東武建設(株)では、坂戸市においてオフィスビルの建設工事を、東武谷内田建設(株)では、墨田区において橋梁撤去工事を、それぞれ完了させました。また、東武緑地(株)で

は、多摩市においてオフィスビルの植栽工事を受注するなど増収に努めました。

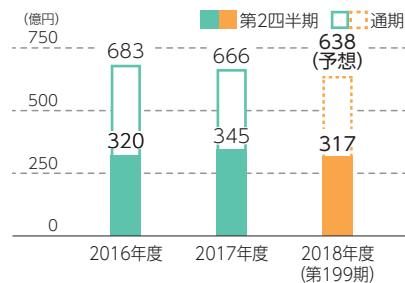
2018年度
第2四半期
決算のポイント

- ✓ 鉄道業において定期収入は増加したものの、記録的な猛暑や相次ぐ台風による出控えによりレジャー事業等において減収となったほか、前期に貨物運送業において事業の一部を譲渡した影響等により、営業収益は、前年同期比13億円減の2,814億円となりました。
- ✓ 営業利益は、上記の事業譲渡等により経営の効率化をはかったものの、バス・タクシー業における燃料費や建設業における原材料費の高騰等により、前年同期比28億円減の317億円、経常利益は、前年同期比25億円減の295億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、子会社の事業再編にともない保有する土地等の固定資産に係る減損損失を計上したことにより前年同期比186億円減の51億円となりました。
- ✓ 総資産は、(株)東武ストアの子会社化にともない同社の第2四半期末時点での連結貸借対照表を取り込んだものの、減価償却の進行や投資有価証券を売却したこと等により前期末比4億円減の1兆6,178億円、負債は、有利子負債が減少したこと等により前期末比12億円減の1兆1,564億円、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により前期末比8億円増の4,614億円となりました。

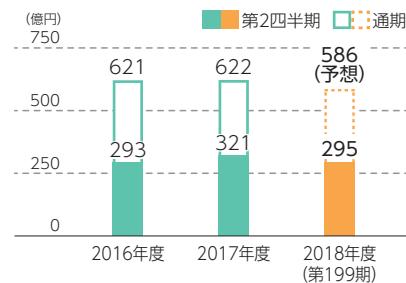
営業収益



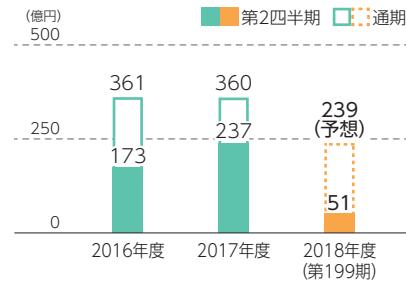
営業利益



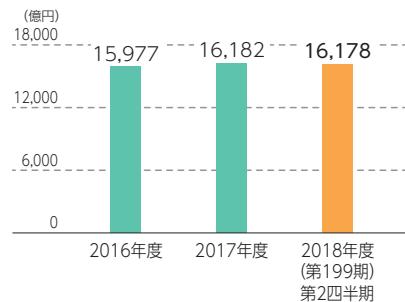
経常利益



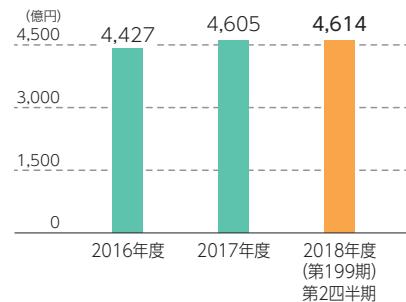
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産



純資産



※本ページ記載の金額につきましては、すべて記載単位未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表の要旨

2018年9月30日現在

(単位:百万円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	151,760
固定資産	1,466,069
有形固定資産	1,327,371
無形固定資産	21,130
投資その他の資産	117,567
資産合計	1,617,829

科目	金額
負債の部	
流動負債	371,185
固定負債	785,243
負債合計	1,156,428
純資産の部	
株主資本	371,332
資本金	102,135
資本剰余金	62,245
利益剰余金	210,379
自己株式	△ 3,428
その他の包括利益累計額	78,950
非支配株主持分	11,118
純資産合計	461,401
負債純資産合計	1,617,829

連結損益計算書の要旨

2018年4月1日から2018年9月30日まで

(単位:百万円)

科目	金額
営業収益	281,476
営業費	249,757
営業利益	31,719
営業外収益	2,046
営業外費用	4,180
経常利益	29,585
特別利益	4,979
特別損失	24,225
税金等調整前四半期純利益	10,339
法人税、住民税及び事業税	11,364
法人税等調整額	△ 6,371
四半期純利益	5,347
非支配株主に帰属する四半期純利益	244
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,102

※本ページ記載の金額につきましては、すべて記載単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

2018年4月1日から2018年9月30日まで

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,507

さらに詳しい情報は、当社ホームページに掲載しております。

東武鉄道 IR 検索 <http://www.tobu.co.jp/ir/>

株主優待乗車証

ご所有の株式数に応じまして、株主優待乗車証を発行いたします。



株式数	乗車証の種類	発行枚数		継続保有*による追加発行枚数 (半年につき)		
		9月末(基準日)	3月末(基準日)			
100株以上 200株未満	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車証 (回数券式)	—	2枚	—		
200株以上 600株未満		2枚	2枚			
600株以上 1,000株未満		6枚	6枚			
1,000株以上 2,000株未満		10枚	10枚			
2,000株以上 3,000株未満		20枚	20枚			
3,000株以上 4,000株未満		30枚	30枚			
4,000株以上 5,000株未満		40枚	40枚			
5,000株以上 5,800株未満		50枚	50枚			
5,800株以上 11,600株未満		電車全線優待乗車証 (定期券式)	1枚		1枚	+ 1,000株以上 5,800株未満を 3年間以上継続して 保有した場合 1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車証 (回数券式) 4枚
11,600株以上		電車全線優待乗車証 (定期券式)	1枚		1枚	
	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車証 (回数券式)	50枚	50枚			

* 当社の株主名簿において、過去3年間の全ての基準日(当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日))に1,000株(株式併合前の2017年9月以前の基準日においては5,000株)以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

株主ご優待券

ご所有の株式数が100株以上の株主様に、株主ご優待券を発行いたします。

株式数	発行枚数	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)
100株以上 200株未満	—	1冊
200株以上	1冊	1冊



東武グループ各施設等でご利用いただけます。(一例)

NEW!!

割引 東武商事
(東武商事運営のコンビニ、駅売店、車内販売)
発行枚数 (半年につき)
お買物代金の割引
500円以上につき50円割引 ▶ **5枚**

割引 東武スポーツクラブ
発行枚数 (半年につき)
施設利用料
1名様1回1,100円で利用可能 ▶ **3枚**

割引 東武ホテルグループ
発行枚数 (半年につき)
飲食料金の割引
● シティホテル …… **10%割引** ▶ **5枚**
宿泊料金の割引
● シティホテル …… **宿泊料金10%割引** ▶ **5枚**
● リゾートホテル …… **宿泊正規料金10%・15%割引**

※ 株主優待乗車証・株主ご優待券の有効期限につきましては、原則、6月発行分(資格確定3月31日)は12月末まで、12月発行分(資格確定9月30日)は翌年6月末までです。
※ 株主ご優待券のご利用にあたりましては、お手元の株主ご優待券の記載事項をご確認ください。

株主優待の
使えるお店が
たくさんあります。
ぜひご利用ください!

駅構内等のコンビニエンスストア
「ファミリーマート」

車内販売

東武商事の株主優待
はじまりました。

北千住駅下りホーム売店

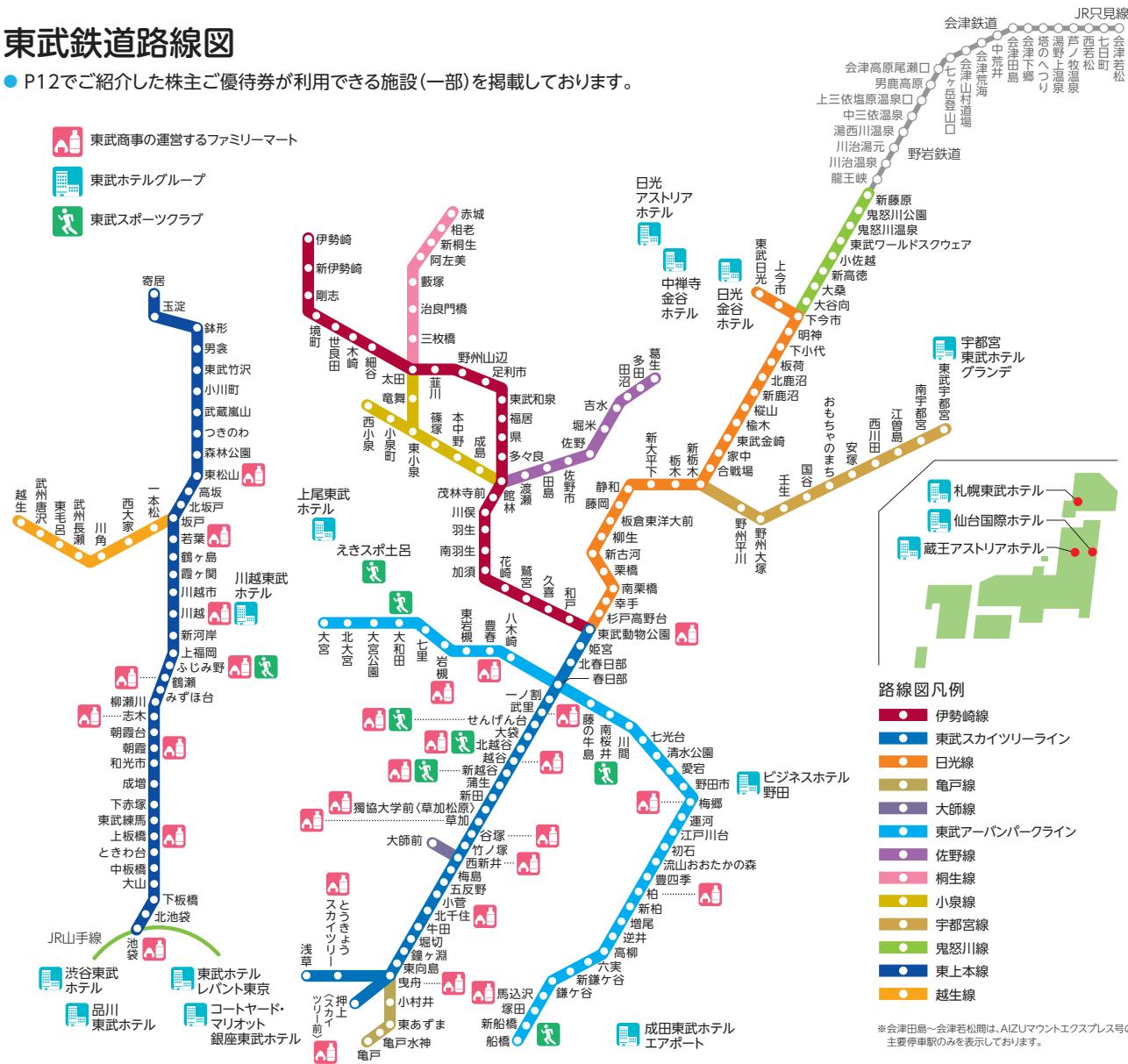
東武商事(株) 甲斐さん

※ ご利用いただける店舗等の詳細は、株主ご優待券または東武商事ホームページをご覧ください(<http://www.tobushoji.co.jp/>)。

東武鉄道路線図

● P12でご紹介した株主ご優待券が利用できる施設(一部)を掲載しております。

- 東武商事の運営するファミリーマート
- 東武ホテルグループ
- 東武スポーツクラブ



株主様向け施設見学会について

株主様に当社の事業内容へのご理解を一層深めていただくことを目的として、次のとおり開催いたします。

見学会

東武博物館(東京都墨田区)

休館日に株主様限定の貸切状態にて、特別に通常のご見学時にはご覧いただけない場所・展示物の見学会等を予定しております。



開催内容	
開催日	2019年2月12日(火)
予定時間	13:10～15:30
集合場所	東武スカイツリーライン 北千住駅 (東武博物館の最寄駅(東向島駅)まで、電車で移動いたします。)

募集人数

同伴者様を含めて60名様

お申込み多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。

対象者

当社株主様(2018年9月30日時点で100株以上保有の株主様)

- 株主様お1人につき、同伴者1名様まで可。同伴者様は株主様でなくても結構です。
- 小学生以上の方がご参加いただけます。

参加費

無料

(ご自宅から現地までの往復交通費は参加者様のご負担となります。)

注意事項

- ご見学時は、1時間程度(予定)の徒歩移動および階段の昇り降りがございますので、あらかじめご了承ください。
- 諸般の事情により内容が変更または中止となる場合もございます。
- 当選した権利は他人へ譲渡することはできません。
- 当日、当社にて撮影した写真等は、当社の広報活動において使用させていただく場合がございます。
- 本見学会用の駐車場はご用意しておりません。公共交通機関をご利用のうえお越しください。
- ご応募に際していただいた個人情報につきましては、当選者様へのご連絡等本見学会を実施するうえで必要な範囲においてのみ使用させていただきます。

応募方法

次のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入のうえ応募ください。ご記入内容に不備がある場合は無効となります。

62円切手 **131-8522**

東京都墨田区 押上2-18-12

東武鉄道(株) 総務法務部 施設見学会担当 宛

① 株主様氏名(フリガナ)
② 株主番号※1
③ 年齢※2
④ 郵便番号、住所
⑤ 電話番号
(見学会当日の連絡先)
⑥ 同伴者様の有無(フリガナ)、年齢、株主様との関係 ※3

※1 株主番号は、本誌同封の「配当金計算書」の右上に記載の9桁の数字です。
※2 忘れずにご記入ください。
※3 本ページ右下の応募券を切り取りのうえ貼付してください。

応募締切

2018年12月21日(金) 必着

当選のご連絡

当選の発表につきましては、当選者様への連絡(2019年1月下旬発送予定)をもって代えさせていただきます。



(写真はイメージです)

株主様向け施設見学会
応募券
2018.9

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 東武鉄道株式会社
 設立年月日 1897年11月1日
 本店所在地 東京都墨田区
 押上一丁目1番2号
 資本金 1,021億3,597万1,747円
 従業員数 3,500名
 発行可能株式総数 4億株
 発行済株式の総数 2億1,231万3,621株
 株主数 6万4,828名
 事業内容 ① 鉄道事業
 ② 不動産事業
 ③ その他の事業

役員 (2018年9月30日現在)

【取締役】
 取締役社長 根津 嘉澄
 取締役 角田 建一 三輪 裕章
 関口 幸一 小野寺 敏明
 小檜山 隆 山本 勉
 柴田 光義 安藤 隆春

【監査役】
 常勤監査役 中嶋 直孝 豊田 郁夫
 監査役 正田 修 茂木 友三郎
 小林 喬

【執行役員】

社長執行役員 根津 嘉澄
 副社長執行役員 角田 建一
 専務執行役員 三輪 裕章 関口 幸一
 小代 晶弘
 常務執行役員 都筑 豊 横田 芳美
 小野寺 敏明 小檜山 隆
 山本 勉
 執行役員 大熊 康義 大塚 博哉
 吉田 辰雄 丸山 真人
 丹羽 茂美 鈴木 熊野
 宮田 浩 吉野 利哉

株主メモ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日 / 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 公告の方法 電子公告
<http://www.tobu.co.jp/>

単元未満株式(1~99株)をご所有の株主様へ

単元株式数に不足する数の当社株式を当社より市場価格でご購入いただき、1単元(100株)におまとめいただける**単元未満株式買取制度**がございます。

例えば、**70株**ご所有の場合



★当社が単元未満株式を市場価格で買い取る**単元未満株式買取制度**もございますので、ぜひご利用ください。

■手続きのお申出について

▶ お取引のある証券会社等

特別口座で株式を管理されている株主様

▶ 三井住友信託銀行 (特別口座管理機関)

TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

株式の税務関係のお手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出等)において、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社等へマイナンバーをお届出ください。なお、証券会社とのお取引がない株主様は、三井住友信託銀行 証券代行部(TEL.0120-782-031(フリーダイヤル))にお問い合わせください。

東武鉄道株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
 TEL.03-5962-2067

※「東京スカイツリー」、「東京スカイツリータウン」および「スカイツリーライン」は、東武鉄道株式会社および東武タワースカイツリー株式会社の登録商標です。また、「東京ソラマチ」は東武鉄道株式会社の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(1,590kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。